

# 知って備える防災メモ

第25回



## 大雪に注意しましょう

登別市は、道内でも降雪量が少ない地域に当たります。

しかし、発達した低気圧の影響によって広い範囲で大雪になる場合や、強い冬型の気圧配置によって局地的に大雪となる場合があります。



大雪による災害は、道路の通行止めや公共交通機関の運休などの交通障害、電線への着雪などによる電力障害、樹木の枝折れやビニールハウスの倒壊による農業被害、雪崩や融雪による災害があり、これらの災害が複合して発生した場合には、市民生活に重大な影響を及ぼす恐れがあります。

## 大雪への備え

大雪が予想される場合、气象台から気象情報や大雪の注意報、警報、特別警報が発表されるので、これらの情報を活用しましょう。

また、ポータブルストーブや毛布などを用意しておくなど、日頃から大雪による災害に備えておきましょう。

住宅周辺の除雪や屋根の雪下ろし作業中には、落雪や転落などによる事故が毎年多く発生しています。雪がやんだ後でも、作業をするときは十分注意しましょう。



問い合わせ

室蘭地方気象台

(☎) 24249

人が輝き まちがときめく

## 仲間たち

Group

### 子ども軟庭倶楽部

『子ども軟庭倶楽部』は、平成24年6月に発足したソフトテニスのサークルで、5歳から小学6年生までの子どもが所属しています。発足当初のメンバーは2人でしたが、現在は20人が週に4回程度、市内の小学校などで活動しています。

「ダブルスが中心のソフトテニスの練習を通して、仲間意識や礼儀、思いやりの心など、社会に出てから役に立つことを教えていきたいと思っています」と話すのは、代表の寺田貞由さん。年上の相手との試合など実力を伸ばす練習を組む傍ら、競技を好きになって一生懸命取り組んでほしいとの思いから、練習のたびに1人1回は褒めるようにしています。



幅広い学年の参加で上級生と下級生がそれぞれ人間的に成長



▲基礎を重視した打球練習

当初のメンバーだった姉の話からソフトテニスに興味を持ち、2年前から活動に参加している小学2年生の籠山奈緒さんは、「最初はラケットが重くて大変でしたが、休まずに練習に出てくるうちに上手になり、頑張ってるうちに上達することが分かりました。練習はとても楽しいので、もっとたくさんの人とソフトテニスをして、大会で優勝したいです」と、元気に話してくれました。

寺田さんは同倶楽部について「幅広い学年の子どもと一緒に活動しているため、上級生と下級生それぞれに人間的な成長が見られます」と話します。

見学を希望する方は寺田さん (☎) 22299 (mail) まで。

## 準備から関わった 思い出深い成人祭

「成人祭までに準備することが多く、間に合うか心配しましたが、実行委員みんなで協力して無事に成人祭を終えることができ、ほっとしています。実行委員長のあいさつでは、落ち着いて話すことを心掛けましたが、普段は人前に出ることがないため、大勢の新成人を前に緊張しました」と笑顔で話す川野桃実さん。

実行委員会は、昨年8月、新成人や高校生、市内のまちづくり団体などで活動する方など15人により結成されました。

「実行委員長に選ばれたときは驚きましたが、新成人がふるさとで共に育った仲間たちと成人を祝い、旧交を温めることができる成人祭にしようという思いで、成人祭のテーマを決めたり、新成人に配布するしおりや、出身中学校對抗のゲームなどアトラクションの担当を決めたりして、役割分担しながら準備を進めました。会場の新成人は、久しぶりに再会した友人と一緒に成人祭を盛り上げてくれて、とてもうれしかったですね。私にとっても、準備から関わらせてもらい、思い出深い成人祭にな



▲アトラクションの抽選会で抽選番号を引く川野さん（中央）

りました」と、川野さんは振り返ります。

## まちや人に貢献できる 大人になりたい

自らも二十歳の門出を迎えた川野さん。成人祭の実行委員会への参加などを通し、地域への思いを新たにします。

「多くの方に助けられて、成人祭の実行委員長を務めることができました。これからは、生まれ育った登別に恩返しができるよう、まちや人に貢献できる大人になりたいですね。市民が元気で活気ある登別にするため、これからできる限りまちづくりに関わっていきたいと思います」と、今後の目標を話す川野さん。

大人としての自覚や責任を胸に刻みます。



KIRARI

かわ の も み  
**川野桃実**さん(富岸町)

1月11日(日)、市民会館で『平成27年登別市成人祭』（市、同実行委員会主催）が行われました。

ことし、登別市で新成人を迎えたのは、平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた561人。このうち、成人祭には375人が参加し、華やかな振り袖やスーツ姿の新成人が大人の第一歩を踏み出しました。

成人祭は、毎年、新成人などによる実行委員会が準備から携わっています。

実行委員長の川野桃実さんに、成人祭に込めた思いや成人の抱負を聞きました。

## これからできる限り まちづくりに関わっ ていきたい



平成6年、登別市生まれ。20歳。

北海道室蘭東翔高等学校を卒業後、日本工学院北海道専門学校情報処理科に入学。授業の傍ら、ボランティア活動にも積極的に関わる。3月に同専門学校を卒業し、4月から地元の医療機関に就職する。